

鳥取県商工会議所連合会

第 40 回中小企業景況調査結果報告書

●中小企業景況調査概要

1. 鳥取県商工会議所連合会（鳥取、米子、倉吉、境港）は平成 18 年 10 月、第 40 回県内景況調査を実施、このほどその結果をまとめました。
2. 調査時点 平成 18 年 7～9 月期
3. 調査対象 県内中小企業 150 事業所（製造業 50 事業所、非製造業 100 事業所）
鳥取・米子＝各 50 事業所、倉吉・境港＝各 25 事業所
4. 回収率 119 件（79.3%）
製造業 35 事業所・70.0%、非製造業 84 事業所・84.0%
5. 集 計 B S I 表示
X＝上昇・増加、Y＝不変・横バイ、Z＝減少・下降
 $B S I = 1 / 2 (X - Z)$ 但し $(X + Y + Z) = 100\%$

●調査結果

[前年同期比] (平成 17 年 7～9 月比)

売上高は製造業がプラス 10.0 と 4 期ぶりに 2 ケタ台の伸びを見せ、前年同期（プラス 10.7）とほぼ同水準まで回復。非製造業のうち、2 ケタ台のマイナス基調が続いていた卸売業が 5.6 とプラスに転じ、明るい兆しを見せています。しかし、売上単価、資金繰り、借入難度、収益状況、業況判断は改善に至らず、依然として厳しい状況にあります。

[来期見通し] (平成 18 年 10～12 月見通し)

すべての指標でマイナス予測となっています。特に製造業の業況判断は非製造業（マイナス 13.1）を上回るマイナス 15.7 と厳しい見通しで、35 社中 13 社が悪化を予測。さらに資金繰りの悪化、借入難度の困難さでも製造業がほかの業種を上回っており、これまでにない見通し判断となっています。

[経営上の問題点]

当面の問題点は「同業者間による競争激化」が全体の 17.9% 「消費・需要の停滞」16.0% が上位を占めています。業種別では、建設業・サービス業で「同業者間による競争激化」が最も多く、製造業・卸売業では「仕入れ単価の上昇」、小売業では「消費・需要の停滞」が 1 位を占めています。

前年同期比 平成17年7～9月比

※()内前年同期の結果

()回収数	売上高	売上単価	資金繰り	借入難度	収益状況	業況判断	
全県(119)	-6.3 (-4.9)	-11.4 (-9.8)	-11.2 (-8.9)	-3.1 (0.6)	-16.6 (-13.1)	-16.3 (-11.2)	
鳥取(44)	-8.0 (-21.8)	-8.0 (-10.9)	-14.8 (-19.6)	-4.6 (-10.9)	-14.8 (-21.8)	-14.8 (-13.1)	
米子(33)	-15.2 (-6.7)	-20.0 (-19.0)	-15.6 (-13.8)	-3.2 (0.0)	-20.3 (-12.1)	-19.7 (-11.3)	
倉吉(25)	-10.0 (8.0)	-14.0 (-2.0)	-2.0 (0.0)	-2.0 (6.0)	-24.0 (-8.0)	-22.0 (-8.0)	
境港(17)	11.8 (3.4)	0.0 (-3.4)	-6.7 (-3.9)	0.0 (12.5)	-3.0 (-10.0)	-5.9 (-13.4)	
製 造 業	全県(35)	10.0 (10.7)	-8.6 (-8.7)	-5.8 (-10.7)	-1.4 (-1.8)	0.0 (-1.8)	-7.2 (-10.4)
	鳥取(16)	12.5 (-5.0)	-6.3 (-10.0)	-12.5 (-25.0)	-3.2 (-15.0)	0.0 (-15.0)	-6.3 (-5.0)
	米子(10)	-5.0 (16.7)	-15.0 (-10.0)	-5.0 (-5.6)	0.0 (11.1)	-5.0 (11.1)	-10.0 (-5.0)
	倉吉(5)	20.0 (0.0)	-10.0 (0.0)	10.0 (-0.5)	10.0 (0.0)	-10.0 (-10.0)	-10.0 (-30.0)
	境港(4)	25.0 (50.0)	0.0 (-12.5)	0.0 (12.5)	-12.5 (0.0)	25.0 (0.0)	0.0 (-12.5)
非 製 造 業	全県(84)	-12.9 (-11.6)	-12.5 (-10.3)	-13.6 (-8.1)	-3.8 (1.7)	-23.5 (-18.0)	-20.0 (-11.6)
	鳥取(28)	-19.7 (-34.6)	-8.9 (-11.6)	-16.1 (-15.4)	-5.4 (-7.7)	-23.2 (-30.8)	-19.7 (-19.3)
	米子(23)	-19.6 (-16.7)	-22.5 (-23.7)	-20.5 (-17.5)	-4.6 (-5.0)	-27.3 (-22.5)	-24.0 (-14.3)
	倉吉(20)	-17.5 (10.0)	-15.0 (-2.5)	-5.0 (7.5)	-12.5 (7.5)	-27.5 (-7.5)	-25.0 (-2.5)
	境港(13)	7.7 (-13.6)	0.0 (0.0)	-9.1 (-11.1)	5.6 (18.8)	-11.6 (-13.7)	-7.7 (-13.7)

来期見通し 平成18年10～12月見通し

※()内前年同期の結果

()回収数	売上高	売上単価	資金繰り	借入難度	収益状況	業況判断	
全県(119)	-7.5 (0.5)	-9.2 (-6.7)	-10.0 (-3.3)	-4.8 (1.1)	-13.2 (-4.3)	-13.8 (-4.3)	
鳥取(44)	-9.1 (0.0)	-12.5 (-13.1)	-15.9 (-4.4)	-4.6 (-4.4)	-15.9 (-4.4)	-18.2 (-6.5)	
米子(33)	-1.5 (-3.3)	-6.5 (-5.4)	-4.7 (-6.7)	-1.6 (-1.7)	-7.6 (-8.4)	-7.6 (-6.5)	
倉吉(25)	-12.0 (4.0)	-14.0 (-6.0)	-10.0 (1.5)	-10.0 (4.0)	-22.0 (0.0)	-20.0 (4.2)	
境港(17)	0.0 (3.4)	3.1 (0.0)	-3.4 (-11.6)	-3.9 (12.5)	-3.0 (-3.3)	-5.9 (-10.0)	
製 造 業	全県(35)	-7.2 (12.1)	-5.7 (-5.4)	-11.5 (1.7)	-5.7 (1.8)	-10.0 (-1.8)	-15.7 (5.2)
	鳥取(16)	-3.1 (15.0)	-9.4 (-5.0)	-21.9 (0.0)	-9.4 (-5.0)	-15.7 (5.0)	-18.8 (5.0)
	米子(10)	-15.0 (0.0)	-5.0 (-5.6)	-5.0 (0.0)	0.0 (5.6)	-15.0 (-5.0)	-15.0 (-5.0)
	倉吉(5)	-10.0 (20.0)	0.0 (0.0)	0.0 (10.0)	0.0 (10.0)	-10.0 (-30.0)	-20.0 (30.0)
	境港(4)	0.0 (25.0)	0.0 (-12.5)	0.0 (0.0)	-12.5 (0.0)	25.0 (25.0)	0.0 (0.0)
非 製 造 業	全県(84)	-7.6 (-4.6)	-10.5 (-7.2)	-9.3 (-5.7)	-4.4 (0.9)	-14.3 (-5.5)	-13.1 (-8.6)
	鳥取(28)	-12.5 (-11.6)	-14.3 (-19.3)	-12.5 (-7.7)	-1.8 (-3.9)	-16.1 (-11.6)	-17.9 (-15.4)
	米子(23)	4.4 (-4.8)	-7.2 (-5.3)	-4.6 (-10.0)	-2.3 (-5.0)	-4.4 (-10.0)	-4.4 (-7.2)
	倉吉(20)	-12.5 (0.0)	-17.5 (-1.5)	-12.5 (5.0)	-12.5 (2.5)	-27.5 (7.5)	-20.0 (-2.7)
	境港(13)	0.0 (-4.6)	4.2 (4.6)	-4.6 (-16.7)	0.0 (18.8)	-11.6 (-13.7)	-7.7 (-13.7)

BSI=1/2(X-Z) X=上昇・増加 Y=不変・横バイ Z=減少・下降 但し(X+Y+Z)=100%